

一人で注文しよう！～タッチパネルの活用実践～

中学部 2年 廣川加奈子 村山優美

生徒の実態

- ・中2(男子2名、女子2名)
- ・文字理解が難しい。
- ・言語表出に課題がある。
- ・自分で選ぶ経験が少ない。
- ・お金の計算が苦手である。

目指す姿

<回転寿司利用>

タッチパネルを使って一人で注文できる！

決められた予算の中で食事ができる！

〇〇〇円以内で

卒業後や将来の活用

限られた予算の中で、自分の必要な物を購入することができる！

タッチパネルを活用して銀行のATM、書籍の検索、病院の予約などができるようになる！

指導計画

ステップ1
回転寿司について知る

ステップ2
タッチパネルの操作と予算の学習

ステップ3
注文～支払いまでの模擬体験

ステップ4(活用)
校外学習
<回転寿司利用>

指導の工夫

お店と同じ！ タッチパネル画面

→iPadのkeynote機能を活用。正しくタッチすると、次の画面に進んでいく。

一目で金額が分かる！ メニュー表

→全メニューについて、100円硬貨が何枚あれば注文できるかが示してある。

使える予算が分かる！ コインケース

→注文した金額分の100円硬貨を移動し、硬貨のボックスが空になったら予算がなくなる仕組み。

成果課題

○全員が自分の食べたいものを考え、自分で選択してタッチできるようになった。

○メニュー表を見て、100円硬貨が何枚で食べられるかが分かるようになった。

○持っているお金(硬貨)がなくなったら、食べられない(予算の概念)ことが分かるようになった。

●誤操作の指導

→タッチパネルの誤操作をしてしまったときや、画面が切り替わらないときには教師(店員)への援助依頼が必要となる。その際に必要な言葉ややりとりへの手立てが不十分だった。

活用

☆コインケース→100円ショップや買い物学習での活用。100円だけでなく金種を変えて支払うことができる。

☆タッチパネル→他の寿司店での活用、駅の券売機、書籍の検索